

はしらざわ

念頭にあたり

柱沢地域まちづくり振興会長 菅野 政一

新年あけましておめでとございます。昨年同様、新型コロナウイルスも五類に移行され、年間行事もコロナ禍以前に戻ったように思われましたが、新年早々能登半島地震、羽田空港の航空機事故が起きてしまいました。これ以上事件、事故のないように祈るばかりです。

さて当振興会も今年で十年目を迎えます。振興会の事業の一つで、紅屋峠千本桜祭りも、実行委員会を立ち上げて頂いたため、実行委員会で実施できるようになります。又伊達市役所保原総合支所の指導で、桜の花びらをあしらったアクセサリを製作中です。また桜まつりには出店を予定しております。

桜のライトアップも昨年よりグレードアップして行いたいと思います。役員の皆様には何かとお手伝いを頂くかと思いますが、よろしくお願ひします。

今年皆様にとって良い年でありませうようにお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。



第9号 令和六年三月一日発行
発行 柱沢地域まちづくり振興会
編集 総務企画部
問合先 柱沢地区交流館 電話五七五〇八六〇

柱沢地区大運動会



6年生最後のゴール!



あかもしろも頑張れ!

台自治会からのお知らせ

台自治会長 佐藤 忠信

新年明けましておめでとございます。

新年早々に能登半島地震があり、被災された方々にお見舞い申し上げますと共に、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年より新型コロナウイルスの影響で中止しておりました柱田聖文殊菩薩祭りを、四年ぶりに三月三日に開催する事になりました。数多くの方々に、お参りして頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

尚、当日午前十一時より受験者合格祈願を申し上げますので、宜しくお願ひ致します。



柱田聖文殊菩薩堂

総務企画部会

総務企画部会長 石神 政一

令和五年度は、新型コロナウイルスも五類へ移行されて当たり前の日常が戻りつつある一年となりました。柱沢まちづくり振興会の各専門部会の活動も、例年通りの展開に近いものとなりました。

さて今年には辰年ということ、新たな新年を迎えられたことと思いが、新年の一日に起きた能登半島地震による甚大な被害、二日の日航機と海保機の衝突事故、今年はどうな一年になるのだろうかと思われたことと思えます。

昨年一年を振り返り、柱沢地域まちづくり振興会の活動を皆様に紹介して、今年の柱沢地域まちづくりの活動の指針となるようにと考えております。

各専門部会の活動と柱沢地区の各種団体、そして今回より民生委員、柱沢地区の成人代表の方にも寄稿して頂きました。寄稿して頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。

より充実した内容で、総務企画部会として広報誌の発行をする事により、柱沢地域まちづくりの一助になれる様、努力していきたいと思っております。柱沢地区の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

ウォーキングで健康づくり

健康福祉部会長 大戸 実

健康意識の向上や地区住民の交流を目的とした「第七回柱沢地区ウォーキング」を十月二十九日、柱沢地区交流館で開会式を実施、参加者が楽しく健康づくりに取り組みました。

柱沢地区住民を中心に三十五名が参加。今回は所沢方面をコースとし①信達三十三観音二十六番専且寺観音②毘沙門天③信達三十三観音二十七番寿徳時観音を約四キロのコースをウォーキングし、天候にも恵まれ、収穫間近の柿畑を横目に見ながら和気あいあいと心地よい汗を流しました。次回の開催時は、数多くの方々の参加を是非お願いし、健康ウォーキングがより一層盛り上がることを期待したいと思います。

ご協力を頂きました参加者の皆様に感謝いたします。



楽しくウォーキング



実りの秋を満喫！

防災に思うこと

環境防災部会 松浦 芳邦

令和五年度も環境防災として、環境美化活動と防災訓練を各自治会長様や他の部会、団体の皆様のご協力を頂いて実施することが出来ました。

年が明けて、令和六年一月一日に能登半島地震が発生し、被害の状況が連日報道されておりました。今、自分出来る支援をしていきたいと思ふと共に、自分の防災の備えについて改めて考えたい、準備したいと思っております。

災害は忘れたころにやって来る。今は忘れる前に次の災害が起きていくような感じがします。

まずは自分の命、家族の命を守ることです。



消防団 整列



防災訓練開会式

継承

地域づくり部会長 大河原 明

今年度はコロナ感染が五類へ移行し、様々な事がようやく緩和され振興会まちづくり部会の事業が行えた事は、何と言っても各方面からのご協力によるものであり、感謝の念に堪えない次第です。

九月中旬には、柱沢地区の歴史講演会で、明治天皇と大正天皇の天医を務めた、高成田出身の三浦勤之助氏の少年時代から晩年までの講演を頂き、ふるさと保原町の誇りと感じました。

また十二月に開催した、しめ縄作りでは、大先輩の講師五名の協力を得て開催することが出来ました。更にもち米栽培から管理して頂いた方々と、まるめ餅を作っていたいただいた婦人会の方々、JA女性部の皆様には御礼を申し上げます。しめ縄作りには数年前と比較すると参加者が減少していますが、正月行事のしめ縄を作る方も減少しているとの報道がありました。幸い柱沢地区にはそのような技術を持った先輩方がおり、この事業を通じて先輩の貴重な技術を継承していくことが世代間交流事業の真髄と考えております。

どうか、一人でも多くの方に振興会事業に参加して頂き、先人の技術を継承できるように事業推進を図っていきたいと思います。

地区の方々には引き続きご協力を宜しくお願い致します。



なれない手付きでしめ縄作り!



技術の継承...

防犯協会の活動

防犯協会柱沢支部長 菅野 賢一

柱沢地区の皆様には常日頃、防犯協会の事業活動に對しましてご協力を頂きありがとうございます。防犯犯罪予防のため夏のお盆の時期と年末を重点に活動しております。防犯協力員の方による防犯チラシ配布と、消防団幹部の方による柱沢地区内の防犯広報と巡回活動を実施し、また毎月青パトによる地区内巡回パトロールを行っています。

毎年小学生全員によります『防犯標語コンクール』を行いまして、令和

五年度は

【最優秀賞】

清野 美羽

『あいさつで

防ぐ住みよい 柱沢』

【優秀賞】

山村ふうか

『あいさつは

はんざい ぼうしの

だいいっぱい』

【優秀賞】

森藤 幸乃

『声かけあい

はんざいゼロの 柱沢』

が選ばれました。おめでとうございます。

今後とも地

区内の安心安

全の為努めて

参りますの

で、皆様のご

支援ご協力を

よろしくお願

いします。



入賞者おめでとう!

紅屋崎千本桜の会近年の活動

紅屋崎千本桜の会会長 松浦 健

コロナ禍における近年の活動は、桜開花時の車対応として、交通安全協会、各自治会の皆様にご協力を頂き、土、日曜日に駐車場の誘導整理、案内所の開設を行いました。

毎年九月初旬には、中央通路西側の曼珠沙華植栽地の草刈り作業を

行つて、秋には曼珠沙華が綺麗に見られるようにしております。

令和四年度、五年度には、日本桜の

会より桜の苗木各六十本を寄贈して

頂きまして、枯れた木の植え替え作

業を行つて、桜の維持管理活動を

行っております。

交通事故にあわない為には

交通安全協会柱沢分会長 佐藤三起夫

柱沢地区の皆様には、常日頃交通安全活動に、ご協力を頂きありがとうございます。年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動が無事終了し、地区民の皆様には感謝申し上げます。

然し他地区に於いては高齢者、子供達の事故が多く起きています。被害者、加害者にならぬように注意をお願いしたいと思います。

横断歩道の事故も多発しており、渡る時はハッキリと意思表示するようにしましょう。高齢者は外出時には明るいうちに用件をすませる、夕方の時は目立つ服装又は反射材を活用する。

自転車を利用する方は努力義務ではありませんが、安全のためのヘルメット着用をする事、自転車は車と同じ車両であり、走行時は左側通行、

交差点では一時停止を守つて、安全確認、夜間はライト点灯、飲酒運転は禁止、点検も合わせて安全運転。お願いの文面になってしまいました。昨年同様地区内の交通事故の無い様に活動をしていきたいと思ひます。皆様の無事故、無違反をお祈りいたします。

消防団活動

伊達市消防団第三分団長 清野 忠浩

新年早々能登半島地震があり、二百名以上の方々が亡くなられたことに哀悼の意を表します。

柱沢地区においては大きな災害もなく穏やかな一年ではありましたが、日本全国で見れば甚大な被害が各地で起こっております。当地区においても、いつ災害が起こるかかわりません。自分の命は自分で守る、自分の地域は自分達で守るという観点から、今後益々消防団に対する役割が期待されることと思われまふ。しかしながら団員の数が年々減少してあります。当地区も例外ではなく、特に若い団員の補充が急務であり、地区民の皆様のご理解とご協力を切に願ひます。

ところで今年度の消防団の活動としましては、コロナ五類移行により

以前の活動にもどりつつあります
が、毎月二回の機材、機具点検、六月
の小隊訓練、十月の秋の検閲、そして
一月には文化財防火デーに伴う東
光寺への放水訓練を実施いたしま
した。



東光寺放水訓練

柱沢寿会の活動

柱沢寿会連合会会長 清野 喜一

令和四年度の閉講式を三月十日に
実施し、川本先生による食品ロスをな
くそうとの講話をして頂きました。

令和五年度、第一回寿学級を五月
二十五日に開催し、保原町文化財保
存会の佐藤副会長を講師に招き、柱
沢の史跡について学びました。

第二回は気を付けよう身近なこと
を受講、第三回は五月七日に塗り絵
教室を開催し、山田先生に指導を受
けました。認知症の予防効果になる
ということも学びました。

第四回は忠魂碑清掃奉仕作業を実

施。十月十七日〜十八日研修旅行「相
馬ホテルみなとや」午前中はグラン
ドゴルフ大会をしました。

十月二十四日は女性リーダー研
修、霊山中央交流館にて三名が参加
しました。

十月二十六日には柱沢小学校一年
生と二年生が、昔の遊びに六人が参
加しました。十一月三日〜五日に市
民センターで文化祭に塗り絵にて参
加しました。



塗り絵教室と昔あそび

百五十周年記念

柱沢小学校PTA会長 宮口 善浩

昨年は新型コロナウイルスが二類
から五類に移行したことを受けて、
子供達の学校生活もコロナ禍前に戻
りつつあります。

そのような中、今年度柱沢小学校
は百五十周年を迎えることが出来ま

した。記念の植樹を行うことが出来
ました。これもひとえに地域の皆様
の歴史の積み重ねと、ご協力のおか
げです。心よりお礼申し上げます。

また児童数、保護者の人数が減る
中、奉仕作業にもご協力頂き大変助
かっております。今後ともご協力の
程宜しくお願い致します。

一年間、多大なるご協力を頂き、あ
りがとうございました。



桜の記念植樹と奉仕作業！

二十歳を迎えて

柱沢地区成人代表 佐藤まひろ

今年、無事に二十歳を迎えること
ができました。この二十年間、多く
の方々に支えられながら成長するこ
とができました。

たくさん愛情をそそいでくれた

両親、家族、共に歩んできた友人、
ご指導いただいた先生方、いつも近
くで温かく見守ってくださった地域
の方々感謝の気持ちでいっぱい
です。

能登半島地震や、長引くロシアに
よるウクライナ侵攻など悲しい
ニュースが多く心が痛みますが、自
分ができることを精一杯取り組み、
この自然豊かな大好きな柱沢で生ま
れ育った誇りを忘れず、立派な社会
人になります。



伊達市二十歳のつどい

継続

柱沢体育協会長 大河原 明

四年ぶりに、体育協会のメイン行事である柱沢地区大運動会を開催出来たことは、ようやくこの日が来たのかと喜びをかみしめた一年となりました。コロナが五類となり、声出し応援並びにイベント開催が大幅に緩和され、体協としては、準備万端で開催してきましたがやはり、行事とは立ち止まってしまうと、立ち上がるまで倍の量力が必要であることを、年のせいではありませんが、改めて感じたところでした。然し、この柱沢地区には開催するとなれば、必然的に様々な団体が集まり力を貸してくれる気質が備わっている事も、今回大きく感じる事ができた貴重な体験となりました。改めて、この書面を通じ各方面の各種団体の方々には厚く御礼申し上げます。混合バレーボールも六月に開催で、各一部メンバーが集まらないかと心配しましたが、元気に皆さんが集まっていた。方部対抗戦を行うことが出来ました。ももの里マラソン大会も数年ぶりに開催となり、体育協会もボランティア活動を行い、声出し応援を行えた事も感慨深いものがあり、ようやく日常に戻って来たのだと感じたところです。

ふれあい登山も企画しましたが、参加人数は少し少なめで、あいにくの悪天候となり急遽変更になってしまったことは残念でありました。来年度は多数のご参加を宜しくお願い致します。以上一年を綴ってみました。最後に体協活動にご支援頂いた柱沢地区の方々に熱く御礼を申し上げ結びと致します。

未来の子供達のために

保原地域青少年育成推進協議会

柱沢ブロック長 清野 勝寿

この度、柱沢ブロック長になりました清野を申します。今年度の活動計画は、各一部に於いて様々な催しが開催されており、地域の子供達とのふれあいの場が設けられております。その中で近年の児童数の減少は皆様の承知の通り、年を重ねる毎の一途を辿っている状況です。少子高齢化の今だから出来る子供達との接し方や、教えることの大切さを考える時期ではないかと思えます。

子供達チャレンジに対し後押しする事はもちろんの事ですが、躓いたり、落ち込んだ時に、どの様に接するか、親と地域の大人が、安心安全な場所を作ってあげなければならぬと思います。

子供の自己肯定感を育む関わり方が最も重要で、ゆつくりと寄り添いながら一緒に考えてあげられればと思います。

柱沢の子供達が心身共に逞しい人間に育つ為、今後とも地域の皆様のご協力をお願い致します。



未来の子供たち！

ヤングケアラーについて

民生委員・児童委員 大戸 実

近年社会的な関心が高まっている「ヤングケアラー」について紹介します。ヤングケアラーには法律上の定義はありませんが「本来は大人がやるべき家事や家族の世話(ケア)を日常的に行っている十八歳未満の子供」のことを指します。若者の自殺や虐待に関する相談件数が増加した事が背景にあり、子供の権利についての理解は十分に広がっていないのが現状です。

ヤングケアラーには家事や幼い兄弟の世話、看病等にあたるため、勉強する時間が取れず学業への影響、自分の睡眠時間を削らざるをえない。更には友人との時間が取れない、孤独を抱え人間関係や進路、就職活動への深刻な影響を及ぼすケースが明らかになっています。

家庭の問題が子供の負担に直結しているケースが多く、家庭の問題が複雑であればあるほど他機関、他多職種連携が求められ、子供が一人で悩むことのないように、支援が行き届く仕組みづくりが必要とされています。

第三十五回柱沢地区文化祭について

柱沢文連協会長 柳沼 吉隆

今年から新型コロナウイルス感染症の扱いが変更となり、三年間休んだ文化祭を十月二十一日に開催する事が出来ました。

いつもながら小学生の作品には感銘を受け、心踊らされる作品ばかりでした。そして、写真クラブ、白樺会、婦人会、寿会の作品も力作ばかりで、参観者から笑顔が堪えませんでした。出品数も少なくなる中、文化祭を盛り上げて下さいました皆様には感謝申し上げます。

最後になりますが、柱沢地区文化

団体協議会は、この三月で解散となります。今まで当団体へのご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。



4年ぶりの展示

暮らしの保健室

柱沢地区交流館 事務 松浦 由美

今年度も毎月第三木曜日「暮らしの保健室」を開催してきました。健康に関する講話を聞き、お菓子やコーヒーを飲みながら楽しいひと時を過ごしました。令和五年度は腸内環境のお話や薬に関するお話、護身術に、ボッチャ体験などを行いました。柱沢地域の方々誰でも気軽に参加でき、事前に連絡いただければ送迎も可能です。

来年度も継続していきたいと思っ

ていますので、皆さんのご参加をお待ちしております。



誰でも出来る護身術！



おなかの元気教室！

ふりかえって

柱沢婦人会会長 大戸 ひで

日頃より、婦人会活動にご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

令和五年度は新型コロナウイルス感染症が、五類に移行し行動が緩和されました。

敬老会開催を検討しましたが、今年度は開催を中止とし、敬老対象の皆様へ祝い品を配布させていただきました。各自治会長様、町内会長様にご協力いただき感謝いたします。

会員研修として、エコクラフト手芸講師として舟山みつ子様のご指導で、正月用リース作りを体験しました。初めての方がほとんどで、編み始めからなかなか出来なく「何に?」「どうなっ

てるの?」の連続でしたが、苦勞しながらもなんとか作品を完成する事が出来ました。ひとつとして同じ物がなく、個性あふれた作品になりました。コロナ前に戻りつつある今日この頃、平穩な日常が出来る事を心から願っています。



力作のリース！

春の研修旅行

柱沢JA女性部長 松浦千江子

新型コロナウイルスも五類に移行され、四年ぶりに研修旅行を計画しました。二本松岳温泉ながめの宿光雲閣です。月曜日に行った事で、お風呂の湯が乳白色、肌もすべすべにとっても良かったです。お昼のお膳も私達の口に合った料理でとても美味しく楽しい一日を過ごしてきました。

秋のJA祭りには、皆様方のバザーの出品でとても賑わいました。ご協力ありがとうございました。十二月には、フラワーアレンジメント教室を開催し、今年は菊の花が二種類も入り、皆さんそれぞれに綺麗なアレンジメントが出来たようです。また一年、JA柱沢女性部活動を

宜しくお願い致します。



きれいに出来ました！

編集後記

令和も六年目を迎えました。この四年あまりのコロナ禍を乗り越えて、やっと制限の無いお正月を迎えられるようになりました。

五類に移行されたということで、柱沢地域まちづくり振興会の各部会では、防災訓練、ちまき作り、ウォーキング、しめ縄作りなどの活動を行いました。参加者も多く、活動する事の大切さを感じました。活動を通じて地域が大きく飛躍する事を願うばかりです。

寄稿頂いた方々に厚く御礼申し上げます。
清野美喜子